

産地直送便



発行(農)山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2012.3.1 発行
責任者 星 隆之

農事組合法人 山形おきたま産直センター 第15回定期総会

去る、2月19日(日)に第15回定期総会が開催されました。
2011年は近年にない豪雪ではじまり、3月11日には千年に一度といわれる大震災に見舞われ、自然と共生する農民にとって苦勞の多い年でした。原発による放射能災害は、土地に根ざした農民仲間を苦境に追い込みました。

そんな中、暖かい絆も生まれました。組合員の皆さんからの義援金、青年部を中心とした炊き出し支援、取引組織より支援米を送って下さいとの事で多額の義援金が寄せられ被災地の皆さんを勇気づける事が出来ました。



農政の面では、国が私達の取り組む環境保全型農業の取り組みを支援する「環境直接支払」や「農地、水、環境保全型2期対策」制度を始めるなど、持続可能な循環型農業を推奨。

その一方で、TPP交渉にみられるような無秩序なグローバル化を進めるなど、豊かで安定した社会を求める運動と弱肉強食の競争社会を追求する勢力の大切な戦いの時代だと思えます。

稔り多き農村社会を個々の豊かな営農を守るために、組合員一同共に頑張る決意を改めて確認する総会となりました。



記念講演では「放射能汚染が人体に及ぼす影響について」と題し、講師に農民連食品分析センター所長 八田純人氏を招き、放射性物質についてわかりやすく講義頂きました。

農産物にとって原発災害の影響は大きく、消費者の皆様に安心してお米を食べて頂くため対応に努めました。

組合員全員のお米の放射能検査を行い不検出の結果を確認し、野菜、果物についても検査を行っております。

長年、当センターをご利用頂いている消費者の皆様には美味しい置賜のお米を安心して食べて頂けるよう、今後も継続して放射能汚染、原発災害の経過について注意深く見守っていかなくてはなりません。





おきたまの弥生

米 ～温湯処理～

当センターでは、お湯を使った種籾の殺菌を行います。
お風呂のような専用の機械でお湯を沸かし(約60℃)決まった時間種籾を浸します。
そうする事により、種籾の病原菌を殺菌します。環境にやさしい技術です。
最近では、全国的に温湯処理が行われているようです。

除雪

例年通り、置賜の2月は最も雪の多い時期となりました。
果樹の枝に積もった雪を落としたり、野菜ハウスの周りの除雪を行いました。
降り積もる雪は、大変重く枝が折れてしまう事もあります。また、積もり方が早く除雪作業が追い付かない所もあり、ビニールハウスが潰れてしまった所もありました。



FAX専用連絡用紙

山形おきたま産直センター行き
～産直米変更連絡用紙～

FAX0238-47-7318

FAX 送信日 _____ 月 _____ 日

コードNO _____ (納品請求書の左上コードNO 5ケタの数字)

お名前 _____ 様

電話番号 _____

お休み連絡 月 日お届け分(のみ ・ から～)
変更連絡 月 日お届け分(のみ ・ から～)
変更の内容

口座引落 希望する ご希望の場合は をつけて下さい。

新婦人の組合員様は、支部ご担当者様へご連絡下さい。